



ふくえい

—「あい」がいっぱい福栄小—

市川市立福栄小学校だより

令和4年3月16日発行 NO.21

校長 蓮尾 弘子

<https://ichikawa-school.ed.jp/fukuei-sho/>



1年間のご協力 ありがとうございました

桜のつぼみも開花の準備を始め、めっきり春らしい日が多くなりました。保護者のみなさまには変わりなくお過ごしのことと思います。学校では、いよいよ卒業式も明後日となり、あわただしさの中にも、卒業生の旅立ちを祝う雰囲気を感じられる時間が流れています。

さて、今年度最後の朝会では、「ドラえもん34巻」の中の「『時』はゴウゴウと流れる」という話の中からお話しをしました。

のび太君は、今日も宿題を忘れて、先生に怒られています。学校の帰り道にスネ夫君とジャイアン君に会うと「この前貸した本を早く返して!」と言われてしまいます。家に帰ると、ママに2時間かかる親戚のうちへのおつかいを頼まれてしまいます。

普通なら、何を一番先にしようか考えるところですが、のび太君は、お昼寝をしてしまいます。のび太君は何時間もお昼寝をした後に、ドラえもんの秘密道具に頼ろうとしますが、タイムマシンをはじめとする道具たちは、どれも修理中だったり、失くしたり…。そこで、ドラえもんが出した道具が「タイムライト」!これで照らすと、ゴウゴウと時が流れて行く様子が見えます。そして、ドラえもんはこう言います。

「よく見ておくだね。君が昼寝をしている間も、時間は流れ続けている。1秒もまってはくれない。そして、流れ去った時間は2度と帰ってこないんだ!!」「かりに一日3時間無駄にしたとして、月に90時間、年に1080時間。10年なら1万時間以上 こうして無駄に流れていったんだよ。」

時の流れは、目には見えません。ですから、忙しく毎日を過ごしていると、時が流れ去っていることを忘れがちです。ましてや、子どもたちが、時間は無限にあるものと捉えても仕方がないかなとも思います。でも、今にしかできないことや、先延ばししてもいいことがないこともたくさんあります。新しい学年を迎えるまでに、時間を大切に、今できることに勇気を出してチャレンジしてほしいと思って話しました。

話の最後には、「ちなみに、のび太君は、結局ドラえもんにも助けてもらいます。でも、みなさんのところにはドラえもんはいないので、自分で頑張るしかありません!」と付け加えました。

今年度も、コロナ禍が続き、子どもたちの学びの充実を考え、工夫を重ねる日々でしたが、保護者のみなさまの温かいご理解とご支援により、子どもたちは笑顔で健やかな日々を過ごすことができました。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。進学、進級に向けて、今年度一年間のそれぞれの成長を喜び、新年度への明るい期待が持てるよう、残りの日々を子どもたちと共に大切に過ごしていきたいと思っております。



卒業式の予行練習

3月15日に卒業式の予行練習が行われました。練習を重ねてきて、証書授与の時の姿勢も、呼びかけの言葉も歌もとても立派になってきました。感染予防のために、今年度も5年生の卒業式当日の列席はかないませんが、予行練習に少し緊張した面持ちで参加しました。当日は、心温まる良い式になるよう教職員一同願っています。



学校外での生活



17日を最後に、春休み前後の期間は給食がなくなり、早く帰ることになります。遊びに行くときには「どこへ・だれと・何をしに・何時ころに帰る。」を家族に知らせるようにさせてください。

特に卒業生は、春休みが長くなります。子どもだけで繁華街や遊園地などに出かけることは避けるように学校では指導しています。ご協力をお願いします。

コロナ対応策の一部変更

オミクロン株の拡大に伴い学級閉鎖が実施され、保護者の皆様には、ご心配とご苦勞をおかけしております。また、いつもご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

昨日の午後、市川市教育委員会から、コロナ対応の一部を変更（緩和）する旨の通知がありました。「感染者が判明したら、状況確認をし、校内（学級内）に濃厚接触者の候補者、体調不良者がいない場合は学級閉鎖①（感染状況のための閉鎖）をしない。」となっています。これまでは、1名の陽性者が出ると閉鎖していましたが、今後は、他に体調不良者等がない場合は、1名の陽性者がでて、即閉鎖ということにはならないこととなります。

しかし、今後も引き続き、感染予防は必須です。子どもたち自身、また、ご家族の体調管理には気を付けていただき、適切に対応していただきますようお願いいたします。

変更点についての詳しいことは、市川市教育委員会のHPをごらんください。

SNSの使い方にご用心！

スマホがなくても、ゲーム端末、音楽プレイヤー端末（ウォークマンやiPod touchなど）、保護者の古いスマートフォンなどを使ってインターネットにつなぎ、SNSも使えます。また、学年が上がるときにスマホを買い与えることも多いようです。SNS上のトラブルの話は尽きません。



「うちの子は大丈夫」の気持ちは捨てて、ルールをしっかりと決め、フィルタリングサービスを利用したり、履歴を点検してみたりしてください。

「脳をだます」

教頭のとれづれなるままに・・・

こんな実験をした学者がいます。

はしを横にして口にくわえたグループと、何もくわえないグループに同じ漫画を見てもらいます。読み終わった後に、「この漫画はおもしろかったですか」と質問した結果、はしを横にして口にくわえたグループの方が、何もくわえないグループよりも、「おもしろい」と答えた割合が大きかったというのです。

同じ漫画を読んだわけですから同じ割合になっていいはずなのに、どうして結果に違いが出たのでしょうか。

どうやら答のヒントは「はしを横にして口にくわえた」点にあるようです。

「はしを横にして口にくわえる」と、誰もが口をあけて口が横に開がります。果たしてそれはどんな表情か。そう、それは笑顔に近い表情です。作為的ですが、笑顔が作り上がるのです。そうすると脳は、「この人は今笑っている」と認識します。認識した結果、「この漫画はおもしろいんだ」という判断が導き出されたのです。要するに、脳はだまされたのです。よくある、目の錯覚などという現象も、実は脳がだまされて起きると聞いたことがあります。

さてさて、この原理を応用するとほかの場面でも生かすことができそうです。

いろいろつらく落ち込むことが、生きていく中では必ずあります。もしかしたら皆さんの中にも、まさしく今、そういう状況に置かれている人もいるかもしれません。

そんな時には、試しにぜひ、はしを横にして口にくわえてみてください。しばらくすると、何だか悩みやつらさが解消されたような気になってくるかもしれません。心も軽くなっていくかもしれません。脳をだましましょう。

ただし、はしは清潔なものを使ってくださいね。（笑）

参考文献 池谷裕二著『笑顔という魔法』

